

9月景況感・ニーズ調査結果と景況感分析

＜9月の景況感・ニーズ調査の結果の抜粋と調査結果を受けてD I 値等による景況感分析＞

平成23年10月25日

なかつがわ全市経済対策本部

＜9月景況感・ニーズ調査＞

- ・前年同期と比べた場合では、震災で打撃を受けた企業の生産活動や消費者マインドが回復したことで、景気が改善傾向にあるものと思われます。
- ・6ヶ月先の見通しは、円高などの先行き不透明感はあるものの、企業の生産活動の正常化や消費者マインドの回復により景気は改善傾向を予想しています。
- ・震災後の動向については、3ヶ月前と比べ全ての項目で改善又は横ばい傾向にあると思われます。
- ・行政への要望については、発注関係、市政・国政に関するもの、地域の活性化、経済対策などが多く要望されています。
- ・本部の取組みについては、肯定的なものが12件、否定的なものが5件という結果となりました。

＜D I 値を使った業種ごとの景況感分析＞

- ・農 林 業 改善傾向がみられ、先行きも改善を予想。
- ・建 設 業 悪化傾向から横ばい、先行きは悪化又は横ばいを予想。
- ・製 造 業 悪化傾向から小幅な改善、先行きは回復ラインを維持しつつ改善を予想。
- ・運 輸 業 改善傾向が続き、先行きも改善を予想。
- ・卸・小売業 全項目で改善傾向、先行きは従業員の過剰感を除き改善を予想。
- ・サービス業 全項目で改善傾向、先行きは従業員の過剰感を除き改善を予想。

＜過去の調査との分析＞

全ての項目で、企業の生産活動や消費者マインドの回復により景気が改善傾向にありますが、円高や海外経済の減速などの不安材料を背景に「景気は上向いているが、円高などの影響もあり持ち直しのテンポが緩やかになっている」ものと思われます。

◎D I 値とは

日本銀行で発表している「主要(全国)企業短期経済観測調査」いわゆる「日銀短観」で使われている経済指数をディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)略して「D I 値」といいます。

「D I 値」は、単純に3つの選択肢、たとえば「良い」、「変わらない」、「悪い」を用意し、回答から%を求め「良い」の%から「悪い」の%を引いた指数(%ポイント)が0を境に0以上になれば景気回復、0以下になれば景気後退を示す方法です。

9月景況感・ニーズ調査結果

なかつがわ全市経済対策本部事務局

○ 調査の概要

1 調査の目的

市内事業所の実態と動向を把握し、現在の経済危機が市内の事業所にどのような影響を及ぼしているか、さらに今後の状況はどのようになるかと予想されているのかを調査し、併せて行政への要望と現在までの取組みに対する意見等を調査し、今後の経済対策の分析資料とするとともに取組みに対する検証の資料とすることを目的とする。

2 調査対象

市内の事業所のうちから、中津川商工会議所及び中津川北商工会において抽出された、388事業所と農林畜産業の景況感聞き取り調査団体を対象とした。

抽出数	中津川商工会議所	288	事業所
	中津川北商工会	100	事業所
	農林畜産業団体	31	事業所
	計	419	事業所

3 調査方法

アンケート方式
(調査用紙を郵送又はFAX送信して、FAXで回答)

4 調査期間

9月20日～9月30日(回答期限9月30日から延長)

5 調査項目

【景況感調査】

- 1) 受注(売上高)について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 2) 採算(収益)性について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 3) 従業員について { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 4) 資金繰りについて { ①前年同期と比べて
②6ヶ月先の見通し
- 5) 震災後の動向について { ①受注(売上高)を震災直後と比べて

【ニーズ調査】

- 6) 行政に望むもの
- 7) なかつがわ全市経済対策本部の取組みについて

6 回答数

125件(10月17日回答分を含む)

《業種別》

農林業	22件
建設業	23件
製造業	35件
運輸業	2件
卸・小売業	16件
サービス業	27件
計	125件

《地区別》

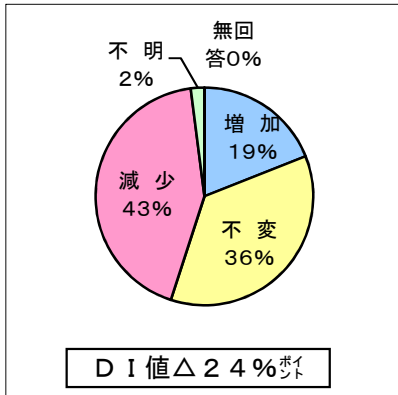
中津川	86件
坂下・川上・山口	9件
加子母・付知・福岡・蛭川	30件
計	125件

【景況感調査】

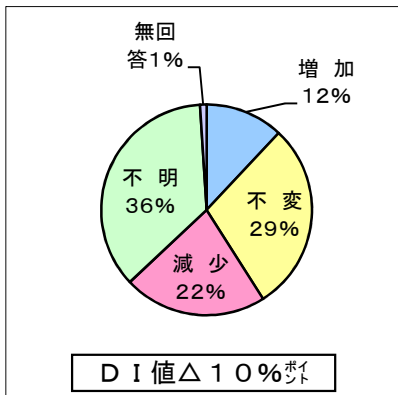
9月景況感調査結果

1) 受注(売上高)について

①前年同期と比べて

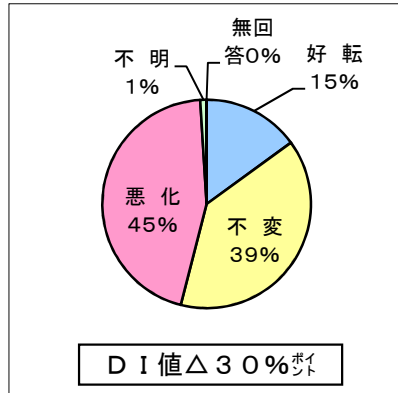


②6ヶ月先の見通し

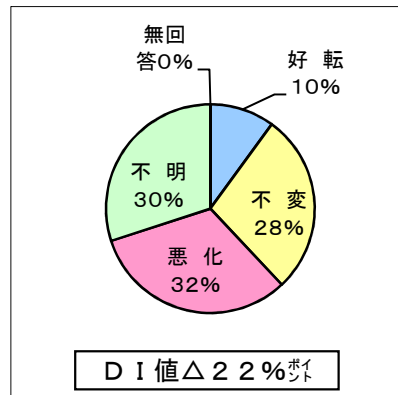


2) 採算(収益)性について

①前年同期と比べて

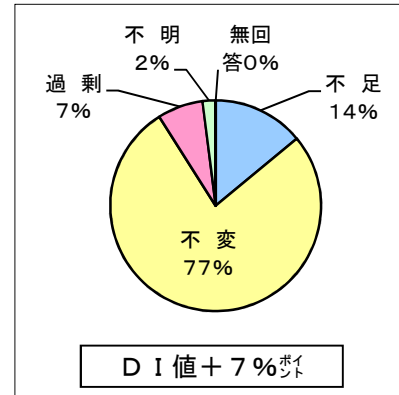


②6ヶ月先の見通し

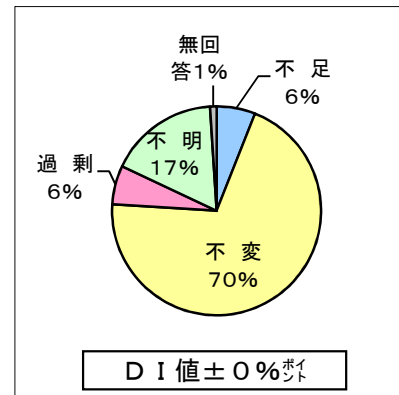


3) 従業員について

①前年同期と比べて

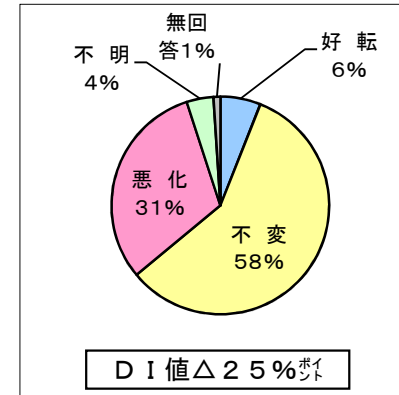


②6ヶ月先の見通し

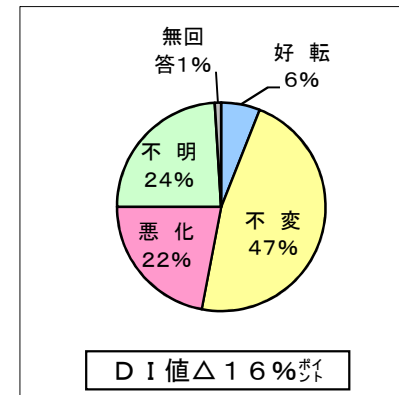


4) 資金繰りにについて

①前年同期と比べて



②6ヶ月先の見通し



行政へ望むもの

・地元企業に優先的に工事や事業を発注してほしい。	11 件
・市政・国政全般に関するもの。	5 件
・地域などの活性化の推進に関するもの。	4 件
・その他緊急経済対策としての支援や助成に関するもの。	3 件
・消費の拡大などに関するもの。	2 件
・企業誘致の推進に関係するもの。	1 件
・震災対応に関するもの。	1 件
・リニアに関するもの。	1 件
・円高対策に関するもの。	1 件
・その他の要望。	2 件
・緊急経済対策に対して「要望なし」やその他の意見。	8 件
計	39 件

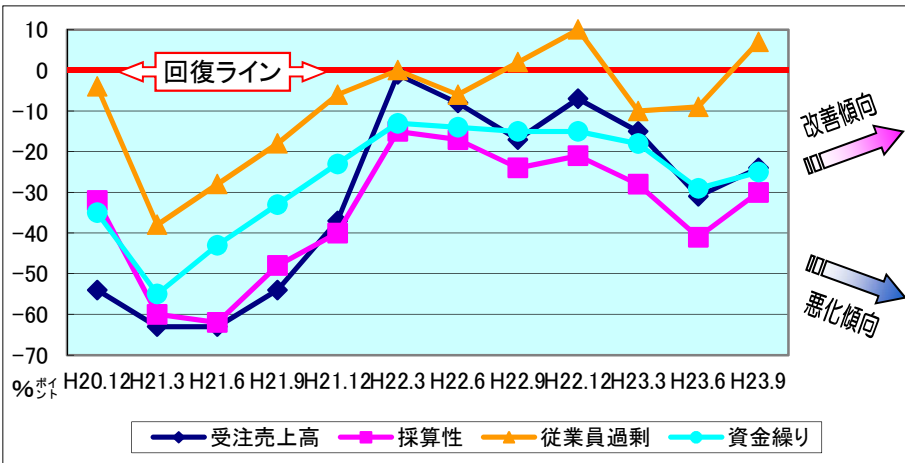
なかつがわ全市緊急経済対策本部の取組みについて

〔肯定的な意見〕	
・対策の継続や推進を期待する。	6 件
・良い事だと思う。	4 件
・その他「ありがたい」など。	2 件
計	12 件
〔否定的な意見〕	
・対策が感じられない。	3 件
・その他「効果が良くわからない」など。	2 件
計	5 件
〔要望的な意見〕	
・金融支援に関するもの。	2 件
・リニアへの期待に関するもの。	2 件
・公共工事の追加に関するもの。	1 件
・地産地消の推進に関するもの。	1 件
・農業の担い手育成に関するもの。	1 件
・その他行政の対する要望など。	3 件
・特になし。	3 件
計	13 件

景況感調査のD I 値による分析（9月）

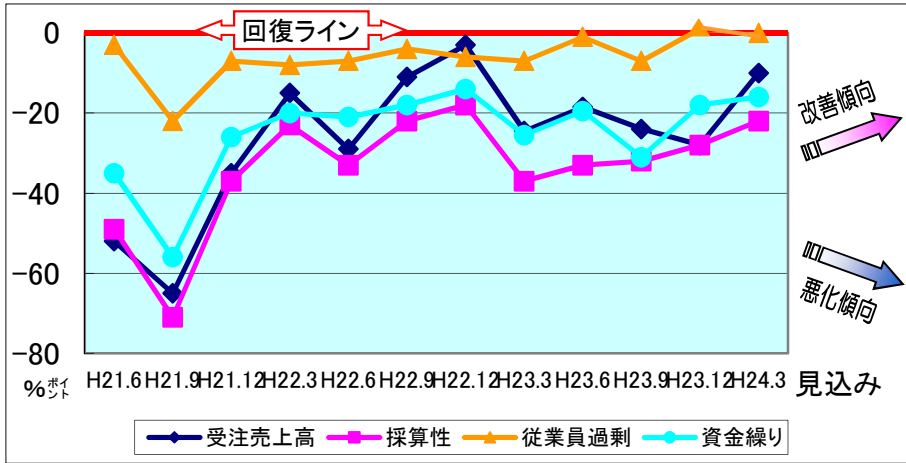
◎H20. 12月～H23. 9月の調査と比較して分析

設問 ①前年同期と比べて



◎ 震災で打撃を受けた生産活動がほぼ復旧したことや消費者マインドの回復を受け、全ての項目で改善傾向にあります。

設問 ②6ヶ月先の見込み



◎ 企業の生産活動の正常化や消費者マインドの回復により景気は改善に向かっていることから、従業員の過剰感を除き全ての項目で改善を予想しています。

《使用資料》

- 会員実態・業況調査 (H20. 9～12)
- 緊急経済アンケート調査 (H21. 2～3)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 6)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 9)
- 景況感・ニーズ調査 (H21. 12)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 3)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 6)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 9)
- 景況感・ニーズ調査 (H22. 12)
- 景況感・ニーズ調査 (H23. 3)
- 景況感・ニーズ調査 (H23. 6)
- 景況感・ニーズ調査 (H23. 9)

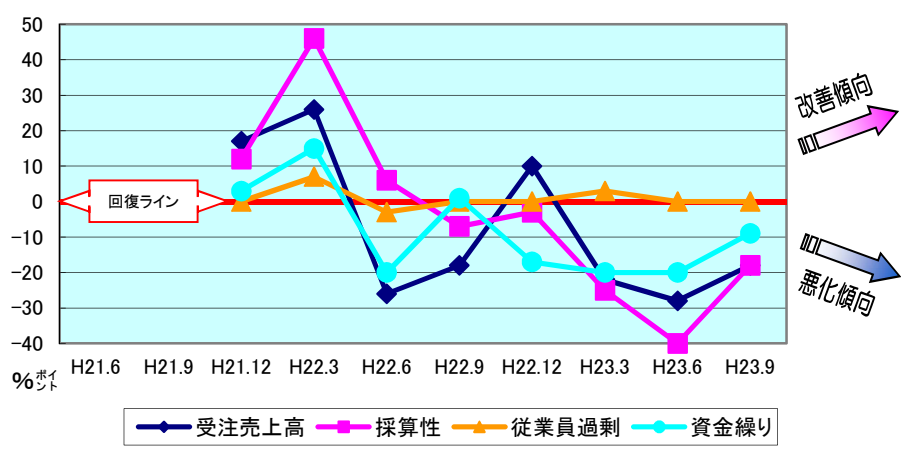
- 中津川北商工会
- 中津川商工会議所
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部
- 本部

- 1, 172社 ⇒ H20. 12
- 100社 ⇒ H21. 3
- 159社 ⇒ H21. 6
- 150社 ⇒ H21. 9
- 222社 ⇒ H21. 12
- 167社 ⇒ H21. 3
- 167社 ⇒ H22. 6
- 156社 ⇒ H22. 9
- 150社 ⇒ H22. 12
- 150社 ⇒ H23. 3
- 147社 ⇒ H23. 6
- 125社 ⇒ H23. 9

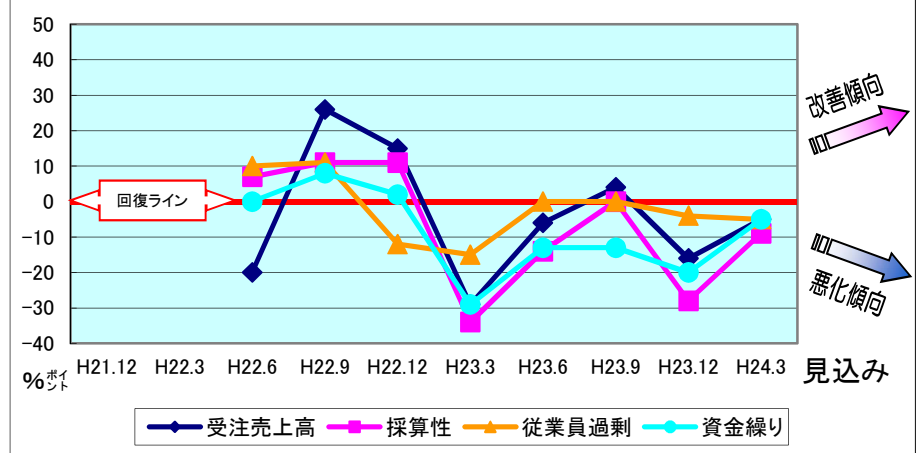
業種別

農 林 業

設問 ①前年同期と比べて



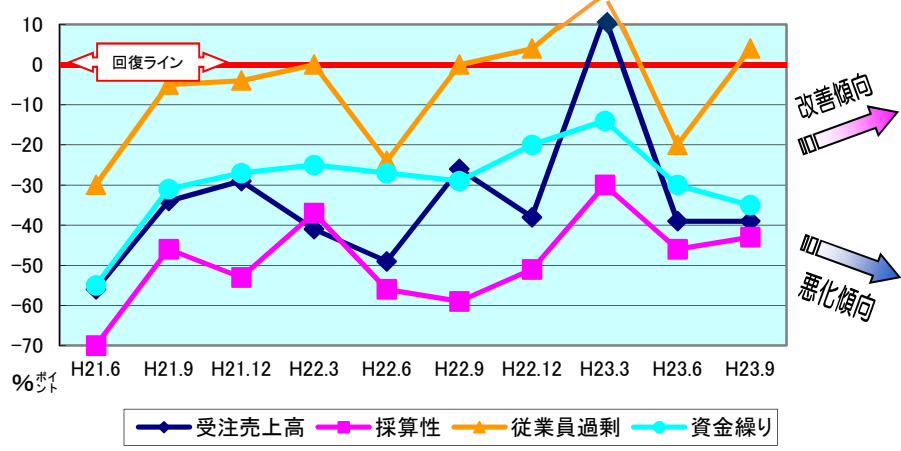
設問 ②6ヶ月先の見通し



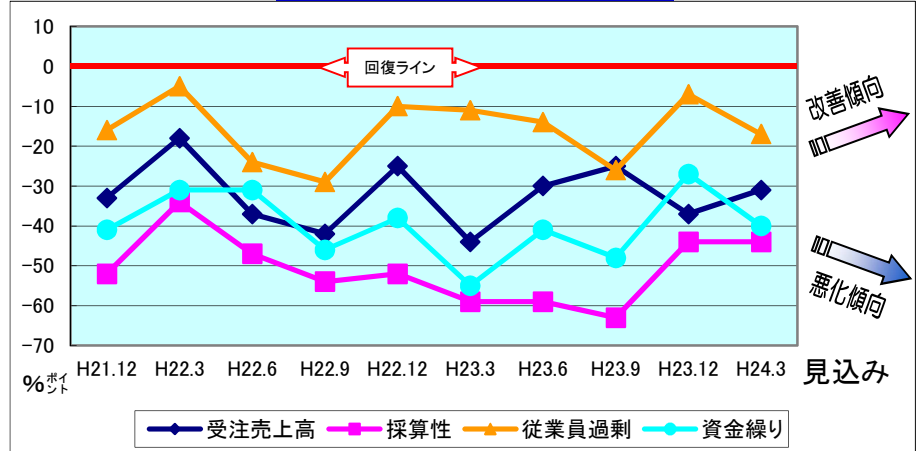
従業員の過剰感を除き、その他の項目全てで改善を示しています。見通しは、従業員の過剰感以外の全ての項目で改善傾向を見込む予想となっています。

建 設 業

設問 ①前年同期と比べて



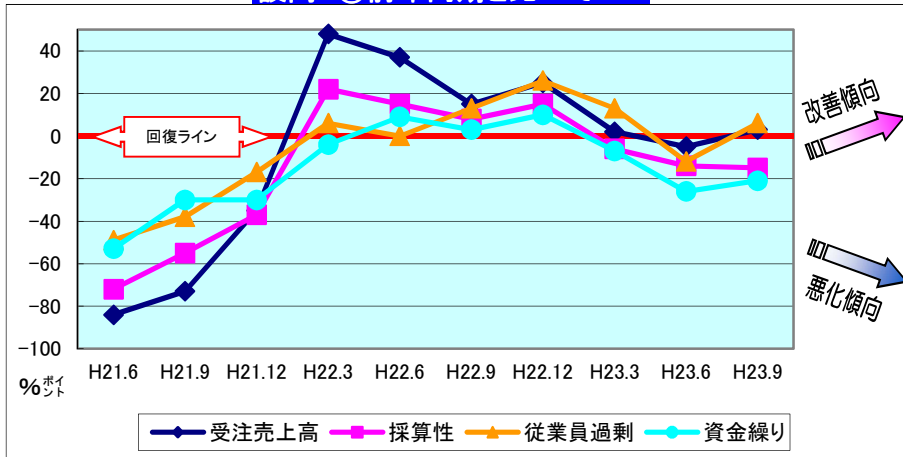
設問 ②6ヶ月先の見通し



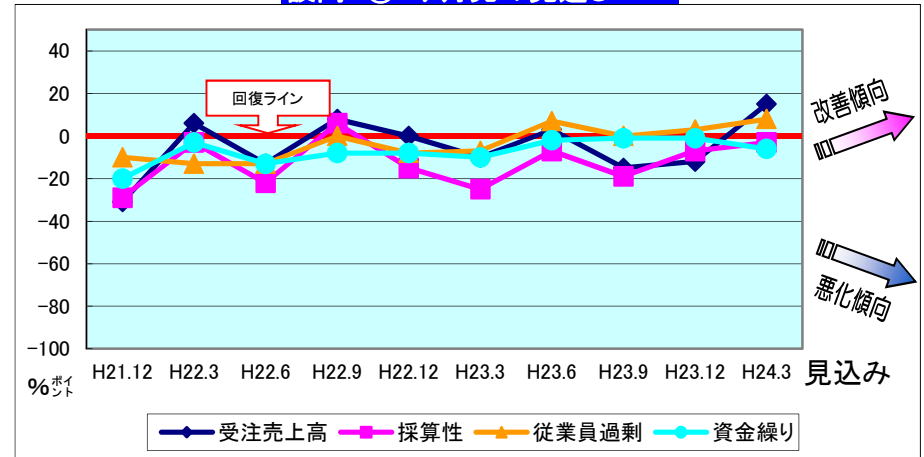
従業員の過剰感、採算性の項目で改善を示しています。見通しは、受注売上高を除きその他の項目で悪化又は横ばいの傾向を見込む予想となっています。

製造業

設問 ①前年同期と比べて



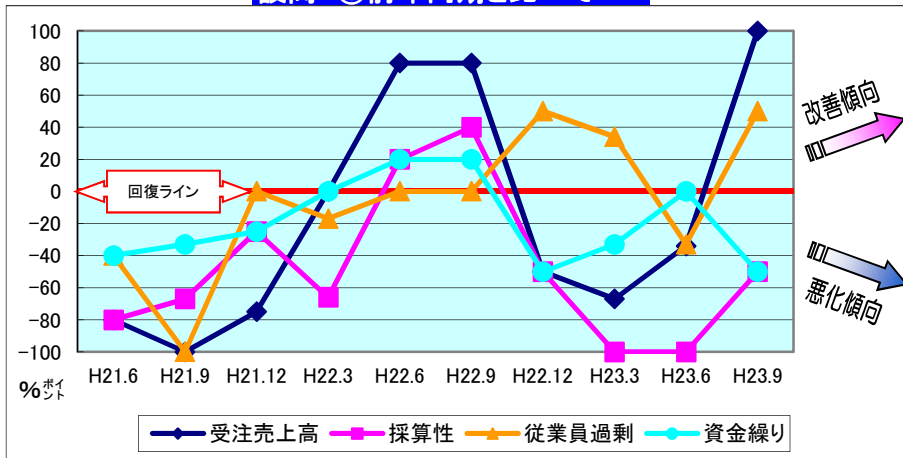
設問 ②6ヶ月先の見通し



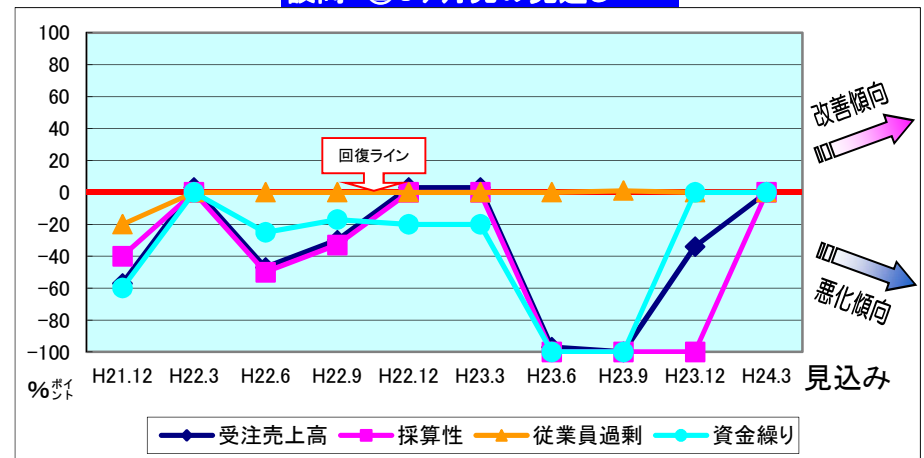
採算性がわずかな悪化を示したものの、その他の項目で改善を示しています。見通しは、資金繰りを除きその他の項目で改善傾向を見込む予想となっています。

運輸業

設問 ①前年同期と比べて



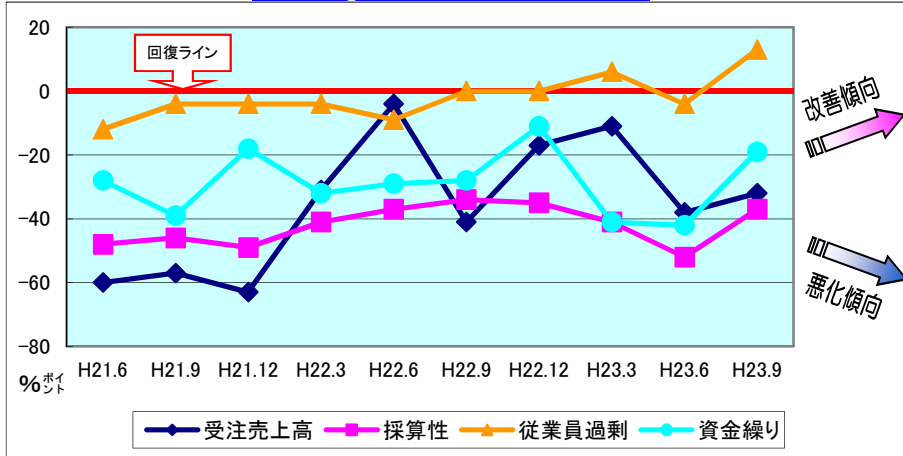
設問 ②6ヶ月先の見通し



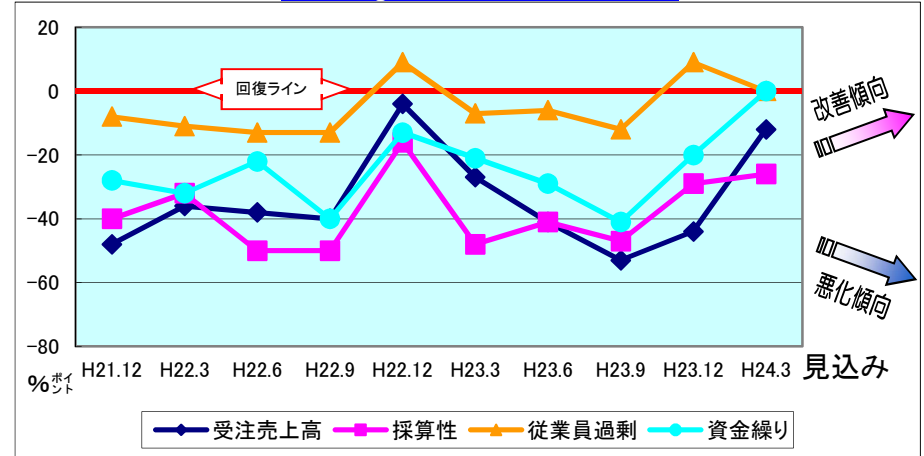
回答数が少ないため大きな変動となっていますが、資金繰りを除きその他の項目は改善を示しています。見通しは、受注売上高と採算性で改善を見込む予想となっています。

卸・小売業

設問 ①前年同期と比べて



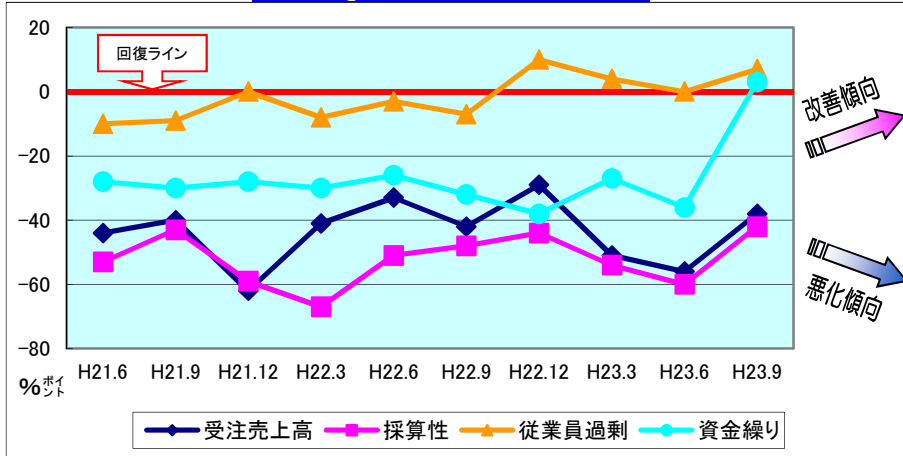
設問 ②6ヶ月先の見通し



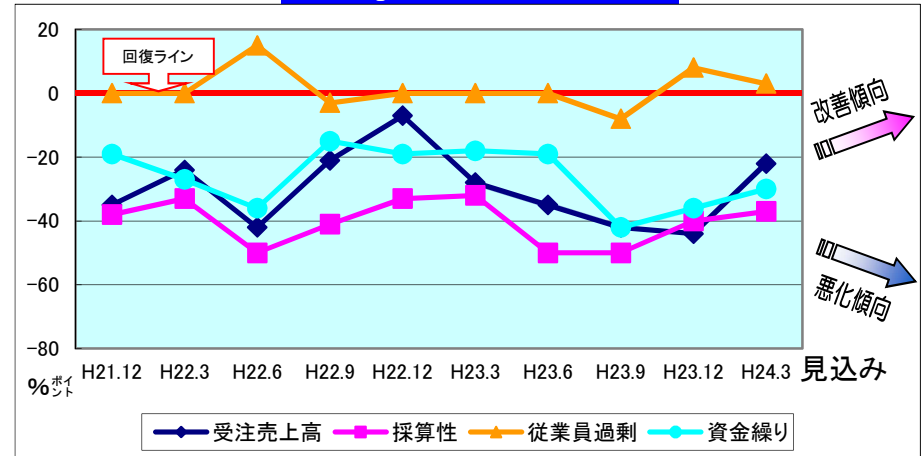
全ての項目で改善を示していますが、従業員の過剰感を除きその他の項目は低水準で推移しています。見通しは、従業員の過剰感を除きその他の項目で改善傾向を見込む予想となっています。

サービス業

設問 ①前年同期と比べて



設問 ②6ヶ月先の見通し



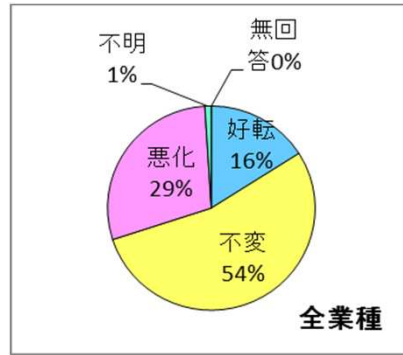
全ての項目で改善を示し従業員の過剰感と資金繰りでは回復ラインを維持しているものの、その他の項目では低水準を示しています。見通しは、従業員の過剰感を除きその他の項目で改善を見込む予想となっています。

■震災後の動向について

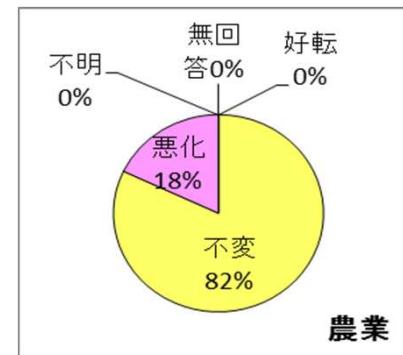
①受注(売上)高を震災直後と比べて

	回答件数
好 転	20
不 変	67
悪 化	36
不 明	2
無回答	0

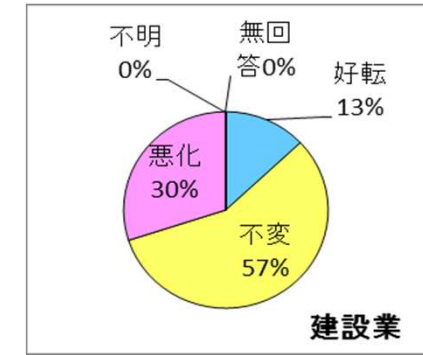
※震災直後と6ヵ月経過した時点での受注(売上)高の比較



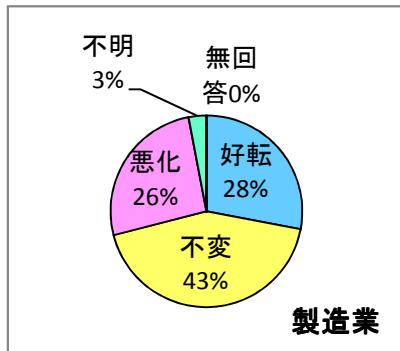
DI値△13%※



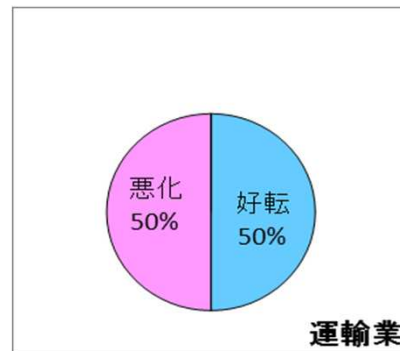
DI値△18%※



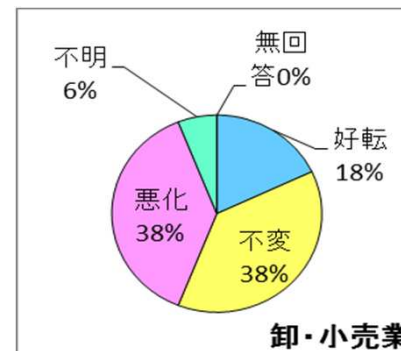
DI値△17%※



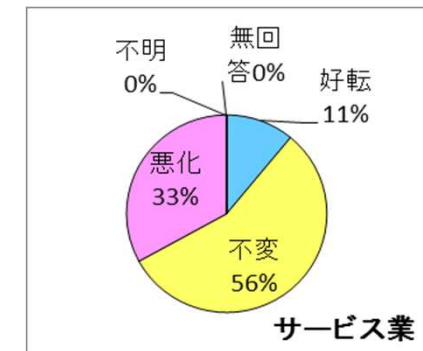
DI値+2%※



DI値±0%※



DI値△20%※



DI値△22%※